



明徳中学校区小中一貫だより

呉市立明徳小学校・明徳中学校

令和6年12月20日

明徳中学校区では、「子どもが進める『めいとく・トライ』」の取組を通して、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子どもを育成することを目指して取組を進めています。子ども達の「やりたい!」を生かすことで、子ども達が自分で学び方を選択・決定したり、友達と学び合ったりしながら、自分達が主体となって学びを進める姿が見られています。

【今年度の研究主題】

自他を尊重し、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子どもの育成
 ～ 子どもが進める「めいとく・トライ」の取組を通して ～

【2学期の取組より】

〇保小中合同避難訓練

今年度も地震・津波を想定して「明徳中学校区保小中合同避難訓練」を実施しました。明徳小学校の児童は、明徳保育所の年長園児や地域の方々を誘導しながら中学校に避難しました。その後、明徳中学校の生徒や地域の方と一緒に、西消防署倉橋出張所の方のご指導のもと、消火栓からの放水や消火器の体験、中学生の指導による段ボールいす作りなどを行いました。今回の訓練の学びを忘れず、大切な自分の命、家族や地域の人々の命を守っていきましょう。



〇乗り入れ授業(音楽・体育・総合)

今学期は、次のとおり、中学校から小学校への乗り入れ授業を実施しました。

- 9月20日(金)・11月13日(水) 全学年対象
学習発表会にむけた合唱指導(中学校 藤田教諭)
- 10月1日(火) 5・6年生
記録会にむけた陸上運動指導(中学校 高田教諭)
- 12月6日(金) 5・6年生
ダンス「音戸の舟唄」指導(中学生全員・高田教諭)
- 12月11日(水) 6年生(中学校で実施)
「総合的な学習」ベンチ作り(中学校 日野教諭)

いっしょに楽しみながら、より専門的な技術や知識を身に付け、中学校への進学にスムーズに接続することを目的に乗り入れ授業を進めています。一緒に明徳の伝統をつなげていきましょう。



〇「明徳中学校区教育研究会」

10月22日(火)に明徳中学校区教育研究会を開催しました。明徳小学校・明徳中学校は、昨年度から2年間、「呉市小中で創る『未来の学び』実践事業研究」の指定を受け、研究と実践に取り組んできました。当日は呉市内の先生を中心に50名余りの参加者が来られ、午前中は明徳小学校の授業公開、午後は明徳中学校の授業公開と、全体会(研究経過報告・協議会・広島大学大学院 人間社会科学研究科 木下博義教授の講演など)を行いました。多くの参観の方々に緊張しながらも、一生懸命に、主体的に学習を進める子ども達の姿に、参加された方々からも温かい言葉をたくさんいただきました。

今回の研究会を通して明らかになった成果と課題を今後の研究に生かし、自ら考え判断し、意欲的に自己を表現する子どもの育成を目指して、子どもが進める「めいとく・トライ」の取組をさらに進めていきます。

【研究会当日の様子】



小4 算数



小6 総合



中3 総合



木下博義教授による講演会

【参観された先生方からの感想】

- ・ 子ども達が主体的に学ぼうとする姿をたくさん見ることができました。
- ・ 小規模校であることの「良さ」をととても感じました。授業を拝見して明徳中学校区の温かい雰囲気がとてもよく分かりました。
- ・ 子ども達の学習に取組む姿が素晴らしかったです。
- ・ 先生方の授業内での笑顔やあたたかい受け答え方が印象的でした。
- ・ 教員の発問に対し子どもがすぐさま発言する姿を見て、子どもが安心して発言できる学級なのだなと感じました。
- ・ 小中の指導の一貫性や系統性があり、子どもが成長した姿を見ることができ、研究の取り組みに説得力を感じました。